

# RNN速報

## 「スリランカ南西部洪水」被災者緊急救援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

モンスーンによる数日間の大雨により、スリランカ南西部では洪水や土砂崩れが発生しました。同国災害管理センターによると、少なくとも169名が死亡、112名が行方不明、112,000人が避難を余儀なくされ、洪水によっておよそ50万の人々が影響を受けています。

南部の海沿いのガルという町では、48時間で合計223ミリもの降雨量を観測、内陸にあるラトナプラでは48時間に453ミリを記録しました。家や店などにはまだ3～9メートルもの高さの水に浸かっている状況です。コロンボからマタラ(首都スリジャヤワルダナプラコッテから南に約160キロ離れた町)への高速道路は、数カ所浸水しています。

現在、警察や軍の救助隊がボートで孤立した人たちの救助を行ったり、氾濫した川から逃げ出したワニの攻撃の可能性について注意を呼びかけたりしていますが、死亡者数は今後も増加が予測されています。

AMDAスリランカはSt. Johns Ambulance Sri Lankaと協力し、緊急救援チームを即座に派遣しました。派遣先の一つであるラトナプラでは、救援活動を実施している地元の消防隊と緊密に活動を行いました。また、マタラ地区にも同時にチームを派遣しました。その後、AMDAが寄付した救急車に医薬品と食料を積み込んで、ラトナプラへ第2次派遣を行いました。

現在、最も被害の大きかったラトナプラやカルタラ地区では洪水の水もひき始めましたが、ベンガル湾東側にある低気圧がサイクロン「モロ」へ強まったこともあり、再び雨が降ることが予想されています。

被害が甚大であること、また長期化が見込まれることから、AMDA本部より調整員1名の派遣を決定、6月7日の派遣に向けて調整を進めています。

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の〆切を本日から1ヵ月後の2017年6月31日といたします。宜しく願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ② RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク (INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「スリランカ洪水」とご明記下さい。

以上

**RNN郵便振替口座**

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933